

a ミッション		【校訓】「こころひろく ゆめおおきく」 ふるさとに誇りをもち、自分を愛し、夢を語る児童の育成				ビジョン【学校教育目標】自ら学び たくましく生きる【学校経営目標】 関わり合い つながりあう せらにし小学校 【めざす学校像】〇一人一人を大切に学校を大切に学校を大切に学校を大切に学校を大切に学校 【めざす児童像】〇自ら考え、自ら学ぶ児童〇人として思いやりをもった児童〇自らを鍛え、自らを管理する児童 【めざす教職員像】〇学校教育目標に向けて協働する教職員〇教育のプロとしての自覚と誇りをもつ教職員〇資質・能力の向上に努める教職員〇法を遵守し、公教育の責任を果たす教職員				【育成を目指す資質・能力】 【知識及び技能】知識・技能 【思考力・判断力・表現力等】思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力・人間性】主体性・自らへの目標			世羅町立せらにし小学校				
評価計画						自己評価				学校関係者評価			改善計画				
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策 (取組指標を含む)	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案			
					達成値	達成値	達成度	評価		イ	ロ	ハ					
学 力 の 向 上	【関わり合う授業づくりプロジェクト】 〇日々の授業改善を図る。  〇校内研修の改善  【関わり合う学びの習慣づくりプロジェクト】 読解力の向上を目指す。 〇課題克服のための学力向上策を行う。	〇せらにし授業スタイルの授業の改善と充実  〇実態把握からつまづきに対する手立てを考え、かかわり合わせるポイントを明確にしたシミュレーションを行い授業改善を図る。 ・授業において「教材・自己・他者」との対話場面を1時間に1回以上設定する。 〇ICT機器を活用した授業の充実 ・授業において、ICT機器を活用した場面を1単元に1回以上設定する。  〇学びの習慣づくりの充実 ・全校読み聞かせを企画・実行し、読書活動を充実させる。 ・読解力・思考力・表現力を伸ばす課題に取り組む。 ・国語辞典の活用(第1学年は2学期から活用する)や親子読書等の読書活動を通して、読解力を伸ばす。	〇毎月の単元テストで、1・2・4・5学年80点以上、3・6学年75点以上の児童の割合(算数)  〇肯定的評価の割合(児童アンケート) 〇「せらにし授業スタイル」をもとに関わり合いのある場面を設定した(授業者アンケート)  〇ICT機器を活用して授業の充実を図った(授業者アンケート)  〇読書活動に意欲的に取り組むことができた児童の割合(児童アンケート)  〇親子読書に取り組んだ児童の割合(児童アンケート)	1・2・4・5 年80% 3・6年 75%													
				80%													
				100%													
特色ある学校づくり	人として思いやりをもった児童の育成を行う。 自信・主体性を培う。  〇ふるさと学習の推進を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。  自らを鍛え、自らを管理する力を育て、主体性を培う。	【つながり合う100人ふるさとプロジェクト】 〇「道徳科」の授業改善を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。  〇ふるさと学習の推進を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。  【つながり合う体力づくりプロジェクト】 〇体力・運動能力テストの課題を基にした取組を行い、体力の向上を図る。	〇本校の重点項目を生かした「道徳科」の授業研修を行い、授業改善を図る。  〇せらにしのよさをたくさん発見し、せらにしに誇りをもつ児童を育てる。(内容例「せらにし小 太鼓」「産業」「環境」「福祉」等)  〇柔軟性を高める。 ・柔軟運動の取組を体育委員会中心で行わせる。 ・「せらにし小ギネス」を掲示し、自己の目標を設定させ、記録向上の意欲を育む。	100%													
				90%													
子どもと向き合う時間の確保	「学校における働き方改革」を推進し、信頼される学校づくりを行う。  〇「学校における働き方改革」の推進を行い、教職員の時間管理能力の向上を図る。	〇地域に信頼される学校をめざし、地域の協力体制をより深いものとする。  〇学校運営協議会を年3回実施し、学校からの情報発信や学校と地域の協議等を充実させる。  〇各教職員が時間管理能力の向上を図るために努力目標を設定し、取組を進める。	〇勤務時間外の在校等時間の上限平均45時間以下	100%													

【学校関係者評価】 イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:わからない。